

## RF信号発生器による変調信号の生成

◇測定対象に与える入力信号を生成

[アプリケーション ～\*Application\*～]

RF信号を処理する製品を設計する際、実際に意図したどおりの信号処理が行われるかを確認する必要があります。その際、入力すべき正確な信号を生成するのが、RF信号発生器です。

RF信号発生器は単純な正弦波を生成するだけでなく、変調や掃引により、試験に必要な波形に加工して出力することができます。

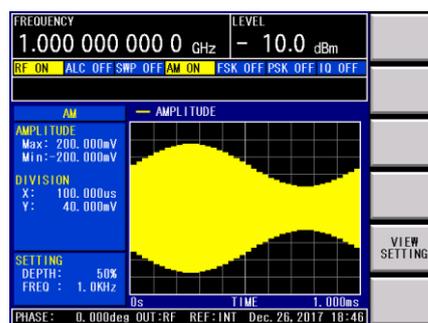


[ソリューション ～\*Solution\*～]

弊社のRF信号発生器MSG703では、大型の画面と分かりやすいユーザーインターフェースで、各種パラメータを設定できます。変調の一例として、AM変調について説明します。



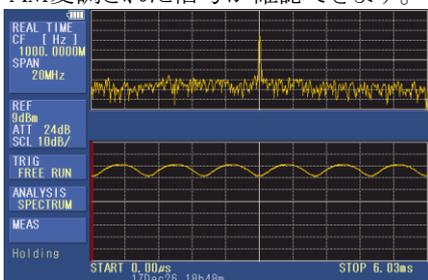
(AM変調設定)



(グラフ表示)

AM変調設定画面では、搬送波に対するAM変調の振幅の深さと変調周波数を設定します。設定したパラメータに従い、振幅がどのように変化するかを示すグラフを表示することができます。

RF信号発生器で出力した信号を、シグナルアナライザのパワー対時間モードにて測定すると、AM変調された信号が確認できます。



MSG703では、この他にも、

- FSK変調、PSK変調、IQ変調
- 周波数/レベル掃引
- パラメータ入力およびリスト入力による変調、掃引の設定等、多彩な信号生成が行えます。

[参考価格 ～\*Price\*～]

- |                      |            |
|----------------------|------------|
| • RF信号発生器 (MSG703)   | 998,000 円～ |
| • シグナルアナライザ (MSA538) | 748,000 円～ |

※価格は全て消費税別表記です。

※詳細は弊社営業担当までお問合せ下さい。

2023/10